

ACMS コンソーシアム 技術交流会

生簀クロマグロの計数と尾数管理の 現状と課題

開催日時： 平成 31 年 2 月 22 日（金）
14 時 00 分～16 時 30 分（受付 13:30～）
場 所： T K P 博多駅筑紫口 ビジネスセンター
福岡市博多区中央街 4-8 ユーコウビル 3 階 301

開催趣旨

平成 29 年 4 月、生簀蓄養殖クロマグロの計測システムの普及・発展のためのプラットフォームとして「ACMS(Aqua-Culture Management System)コンソーシアム」を立ち上げました。本コンソーシアムは、クロマグロ養殖、さらに養殖業全般の経営の安定化及び持続的発展に寄与することを目的としております。

私たちが開発した「マルチ送受波ソナーとピンガーを用いた生簀養殖クロマグロの計数システム」は、国内外の学会発表と現場での計測実績を経て、高い評価を受けているところですが、本計測システムの積極的な利用を強く推し進めるためには、その公益性や有用性をより一層、国内外に情報発信する必要があります。

そこで、本技術交流会では、私たちが各地の現場に足を運び、実際に行った計測事例と、そこで得られた知見を、本会の活動にご賛同いただいた会員の皆様にご紹介するとともに、本尾数計測法による尾数管理の実用化に向けた取り組みと、今後の課題について議論したいと考えております。本技術交流会が会員の皆様及び関係者との実りある情報交換の場になることを期待しております。

開会挨拶 14:00～14:10

第 1 部

14:10～14:40

1. マグロ養殖における尾数計測システムの開発から現場計測まで



濱野 明 （水産大学校名誉教授）

専門分野は「水産音響学」。長年にわたり水中音響計測技術の開発に関する研究に取り組んできた。クロマグロ養殖における計数・計量技術に関し、新たに開発したマルチ送受波ソナーとピンガーを用いた魚の行動に着目した計測システムと、それを活用した実用例を報告します。

14:40～15:10

2. マルチ送受波ソナーの自動解析システムと今後の取り組み



松尾行雄 （東北学院大学教授）

専門分野は「音響信号処理」。生物を含むアクティブ・ソナーやパッシブ・ソナーの信号処理の研究に取り組んできた。マルチ送受波ソナーによって計測された音響データから自動的に尾数をカウントする自動解析システムの仕組みとその解析例を報告する。

15:10～15:40

3. 計測現場からの報告



井藤俊亮 (豊洋水産取締役)

(有)豊洋水産というそれほど大きくないフィールドで、世界初の試みをサポート。科学者である先生方とは異なる生産者としての視点から、この新たな試みに取り組み、考え、感じたことを纏めました。今後のマグロ養殖の発展に少しでも貢献する事が出来れば幸いです。

第2部 パネルディスカッション

15:50～16:40

総合司会：笹倉豊喜（東京海洋大客員研究員）

パネリスト：講演者及び養殖会社関係者

16:40-16:50

閉会 挨拶

第3部 (17:30～19:30) 交流会 (参加会費：3000円)

会場：博多グリーンホテル1号館1階 Salvatore Cuomo

福岡市博多区博多駅中央街4-4（会議場の隣）[Tel:092-433-6465](tel:092-433-6465)

お問い合わせ先

〒231-0002

横浜市中区海岸通1丁目3番地（海事ビル）

一般社団法人 日本海事検定協会 横浜第一事業所

担当：稲井邦夫

TEL: 045-201-3883 FAX: 045-201-2858

E-mail: k-inai@nkkk.or.jp

交流会終了後懇親会を予定しています。

参加連絡票

発信日：平成31年 月 日

宛先 一般社団法人 日本海事検定協会

横浜第一事業所 担当：稲井邦夫 宛

E-mail: k-inai@nkkk.or.jp

FAX: 045-201-2858

所属団体：

氏 名：

メールもしくは ファックスでご連絡ください。